

東京新聞フォーラム「トップアスリートスポーツフォーラム スポーツのチカラ」(東京新聞、東京都スポーツ文化事業団、東京都主催)が一月三十日、東京都渋谷区の東京体育館第一会議室で開催された。ゲストの世界野球ソフトボール連盟理事の宇津木妙子さん(六三)、プロ車いすランナーの廣道純さん(四三)が、今年八月に迫ったリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック、二〇二〇年東京大会の展望や期待とともに、障がい者スポーツの普及など幅広い熱いトークを展開。約百五十人の来場者は熱心に耳を傾けていた。

司会・鈴木暹理東京新聞論説委員(スポーツ担当)

スポーツのチカラ オリンピック・イヤーに考えるスポーツの未来



都スポーツ文化事業団
川瀬航司事務局長



ゲストのお二人の話で会場のみなさまにはスポーツの魅力を知ってもらい、スポーツライフの充実を図ってもらえれば幸いです。また、現在のスポーツ界のタイムリーな話題、生涯スポーツを楽しむコツなどもトップアスリートのお二人から聞かせていただきたいと思います。

東京新聞 大島宇一郎代表



2014年からトップアスリートをお招きし、開催しているこの東京新聞フォーラムも3回目です。本日のゲストにもリオや東京五輪・パラリンピックの展望だけでなく、スポーツの苦勞話、裏話も含めてたっぷり話していただけたと思います。東京新聞は障がい者スポーツも力を入れて報道していく方針です。最後までお楽しみください。



うつき・たえこ 1953(昭和28)年、埼玉県生まれ。選手時代は実業団のユニチカ垂井で活躍。97年、全日本監督に就任し、2000年シドニー五輪で銀メダルを獲得。04年アテネ五輪で銅メダルと指揮官として活躍。05年に日本人初の国際ソフトボール連盟殿堂入りを果たす。現在、NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長、世界野球ソフトボール連盟理事として国内外で競技の指導・普及に努めている。



世界野球ソフトボール連盟理事 宇津木 妙子さん

鈴木暹理論説委員兼編集委員 本日のゲストの二人は多忙な人で、宇津木さんはイタリアから、廣道さんはオーストラリアから先日帰国したばかりです。

宇津木妙子さん 現地で野球の代表とともに指導者の研修で朝から晩まで戦術やピッチングなどを教えていました。これまでの米国に代わって今回から日本が指導を担当したのですが、イタリアは本当に熱心で強くなるな、と実感しました。

廣道純さん オーストラリアでは、シドニーなどで今年最初の試合に臨みました。年間多い時で海外含め、三十試合に出場するのですが、一日に四百、千五百以上など複数の種目に出ることもあり、結構過酷です。

クが近づいてきました。廣道 六月の最終選考までに世界ランクを上げたい。実はオーストラリアで練習中に乗用車にひき逃げされたんです。競技用の車いすはつぶされ、犯人はまだ捕まっています。十層ぐらい飛ばされました。車体は壊れ、ヘルメットも割れましたが、幸い体は大丈夫でした。もしかしたらここにはいなかったかも。

■契機

鈴木 会場のみなさんも自転車に乗るときはヘルメット着用ですよ。さて二人がスポーツを始めるきっかけは？ 宇津木 きっかけは勉強ができたから(笑)。でも運動は駆けこいで学校一入った。当時の先生が「みんなそれぞれ役割があるのだから、何かで一番になれ」と指導してくれたのが背中を押してくれました。でも当時は先生・先輩は絶対で、嫌なこともありました。何とかついていき、高校卒業後ユニチカに入り、世界、五輪へとつながりました。

■飛躍

鈴木 廣道さんは大阪在住ですね。廣道 大分は三十五年前、車いすマラソンの先駆け、大分国際車いすマラソン発祥の地です。でも地元には有力選手がおらず、地元の会社に採用してもらい関西から移ったんです。競技を始めて五年後の大会で日本一になりました。鈴木 九六年はアトランタ五輪でソフトボールが初めて公式競技になった年ですね。宇津木 当時はコーチで開会式を迎え、選手に見られな

日本初の五輪出場でしたが、正直船頭が多く、誰について行っていたか悩んでしまい、一体感が欠けていた。それを学んで帰国しました。鈴木 そしてシドニー(二〇〇〇年)で銀メダル。宇津木 ソフトをメジャーにしたいという思いがありました。私が現役時代の所属先であるユニチカで(注目される)パラボールとソフトの大きな違いを痛感していた。だから「シドニーでメダルを取れば」と二十二人の選手には「日本のソフトのために犠牲になろう」と厳しい練習を重ねたんです。大会では予選から全勝していたが、決勝

で米国に負けてしまった。試合後、決勝点を奪われるエラーをした選手はトイレで泣いていました。私はその選手に「何泣いてんだ。おまえのせいで負けたんだ」と言っていました。今度は選手たちから「みんなのミスで負けたんです」と逆に説教された。誰しも失敗したくて失敗しているわけではない。指導者として「言葉で怖い」と今でも反省しています。

鈴木 そのシドニーのパラリンピックで廣道さんも銀メダル(八百円)ですね。廣道 その前のアトランタ大会には選ばれなかったのが悔しくて、出場した選手を倒そうとやってきた。レースでは最後の直線で追い込み二番手になり、ゴール前の勢いはあったが、トップの選手には届かなかった。「銀」って悔しいですね。宇津木さん。

ソフトボールとは

合9回だが、ソフトは7回で行われ、投手はアンダースローと規定されている。五輪競技としては96年アトランタ大会から加わった。日本は2000年シドニーで銀、04年アテネで銅メダルを獲得し、08年北京で念願の金メダルに輝いたが、12年ロンドン大会で競技種目から除外された。20年東京五輪で野球・ソフトボールの五輪復帰が期待されている。

悔しさを強さに変える

日本国内でソフトボールが登場したのは、1921(大正10)年、米国留学から帰国した当時の東京高等師範学校の大谷武一教授が紹介したのが、最初とされる。戦後の46(昭和21)年、大阪で女子チームによる日本初のオープンゲームが開催され、49年には日本協会が誕生し、第1回日本女子選手権が開かれ、裾野を広げるきっかけとなった。野球は1試

宇津木麗華選手(手前)に声をかける宇津木妙子監督。2004年アテネ五輪のイタリア戦で

戦う気迫 生で感じて

宇津木 みんなよくやった」とは言うけど、やはり悔しいです。

廣道 北京パラリンピックでは中国選手が世界記録を破って金メダルを獲得した。私は八位。でも決勝出場の八人全員が世界記録だった。世界レベルが大きく上がったのに、自分は少ししか上がっていません。

鈴木 今年八月五日にリオ五輪が開幕、九月七日にはパラリンピックも始まりです。廣道 現在世界ランク十三位を六月までに（選考が）堅い八位から五位まで上げた。選ばれて当然というレベルに自分を高めなくては駄目でしょう。

鈴木 リオで注目の他競技は？

宇津木 ゲームスポーツとしてホッケーが楽しみです。

廣道 プーマジャパン所属なので、同じプーマのポルト選手が気になります。あとは地元ブラジル選手がどう強化を図っているか。東京大会に向け探りたいですね。

■ 願い

鈴木 二〇二〇年、東京五輪・パラリンピックを想像してください。

宇津木 スポーツだけでなく、日本全体がどうかわるか。ソフトが復活すれば、そのプレッシャーもすごいはず。選手は覚悟を決めなくてはならないでしょう。大会招致の時、東日本震災をきっかけに日本中の絆が強まり、

一体感があつたような盛り上がりがある。

廣道 パラリンピックでは会場に足を運んでくれる人が増えることを期待したい。海外開催では見なくてもテレビ中継もほとんどやっていない。生で見てもあればアスリートとして戦っていること



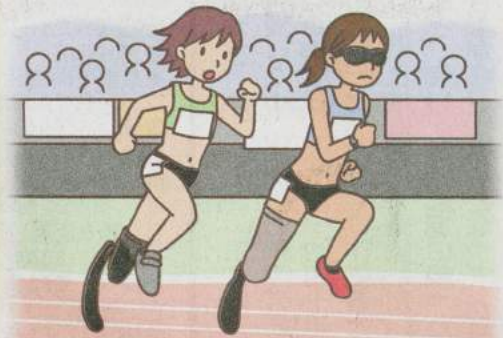
プロ車いすランナー 廣道 純さん



ひろみち・じゅん 1973（昭和48）年、大阪府生まれ。プロ車いすランナー（プーマジャパン所属）。高校生の時、バイク事故で脊髄損傷により車いす生活となり、車いすランナーの

パラリンピックの歴史

パラリンピックは第2次世界大戦後、戦争で障がいを負った人たちが参加したロンドン郊外の病院名にちなんだ「ストーク・マンデビル競技大会」が始まりとされ、1988年のソウル大会からパラリンピックの名称が初使用され、大会も五輪と同じ会場を使用した。64年の東京五輪後に21カ国の選手・役員567人が参加、開催された大会は第2回パラリンピックに位置付けられている。



2020年大会は22競技

2020年東京パラリンピックの競技種目は22競技（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会による）。テコンドー、バドミントンは初となる。

- | | |
|------------|--------------|
| ①アーチェリー | ⑭シッティングバレー |
| ②陸上競技 | ⑮ボール |
| ③バドミントン | ⑯水泳 |
| ④ボッチャ | ⑰卓球 |
| ⑤カヌー | ⑱テコンドー |
| ⑥自転車競技 | ⑲トライアスロン |
| ⑦馬術 | ⑳車いすバスケットボール |
| ⑧5人制サッカー | ㉑車いすフェンシング |
| ⑨ゴールボール | ㉒ウィルチェアラグビー |
| ⑩柔道 | ㉓車いすテニス |
| ⑪パワーリフティング | |
| ⑫ボート | |
| ⑬射撃 | |

鈴木（廣道さんの競技中の写真を手に）競技用の車いすはどんなもの？

廣道 レーサーと呼ばれる特製の車いすは三輪でシートに体を収め、しっかり固定します。自動車でいうトップギアのような高速対応のギア比

レーサーと呼ばれる競技用の車いすで疾走する、レース時の廣道純さん（左）＝2014年の日本選手権で

られている。車いす競技は障がいの部位や程度により、クラス分けが規定されている。廣道純さんの「T53」クラスを例にすれば、Tがトラック競技（Fは砲丸投げなどフィールド競技）を示し、5は障がいの種類、3は程度（0～9があり、数字が小さいほど障がい重い）と区分されている。

車いす陸上競技とは

車いすに乗って実施する陸上競技で、100m、800m、100m×4リレーなどトラック競技と42.195kmを競うフルマラソンのロード競技も行われている。使用されるのは競技用のレーサーと呼ばれる車いす。国内外でさまざまな競技会が開催され、ロードレースでは東京マラソンやホノルル・マラソンなどが国際的に知ら

い子どもたちにソフトを教えたが、思う以上に普通にゲームをします。楽しめるようなルールを作ってみていい。

■ 文化

鈴木 生涯スポーツについて意見を。

宇津木 私は子どもの時、神社の境内での三角ベースから始めた。高齢化社会の中、みんなで集まってスポーツするのが大切でしょう。何も九

人いなくても、試合できなくてもいい。そんな文化になれば、ソフトが金メダルを取

たら「ワーツ」と騒ぎ、五輪競技から外れたら「あの人誰だっけ？」という「熱しやすく冷めやすい」から脱するの

が二〇二〇年に向けて大事なところだと思っています。

話は変わって、正月に箱根駅伝のフィニッシュの東京・大手町に行った際、高齢の夫婦が「毎年来てます。来年も来るためゴールを見て『今年も頑張るぞ』と自分に言い聞かせるんです」と話してまし

た。それを聞いた時、本当にうれしかった。スポーツを見る文化ですね。

鈴木 会場からも二人に質問が届いていますので、答えてもらいましょう。最初はラグビーの五郎丸選手で話題になった「ルーティン」はありますか？

宇津木 ルーティンにしよう。ちゅう怒鳴っていましたけど（笑い）。監督は孤独な存在です。いつも「自分に負けるなよ」と言い聞かせ、腹に力を入れていましたね。

廣道 一切ないですね。逆にあると、それができなかったら不安になる。例えば、朝ご飯はこれ、前日は何時に寝るとか。どんな状態でも「おれはやってやる！」の気持ち優先です。

鈴木 次は良いチーム作りの秘訣は？

宇津木 常に選手と会話をしてほしい。公平・平等とはいえ、レギュラー、補欠は仕方ないが、レギュラー以外でもこうやって使うよ、とか言うことが大事。みなさん私が怖いと思っているかもしれないけど、こちらから伝え、相手からも話してくれる結び付きが必要。家庭でも会社でも同じで、私はおせっかいなくらいにどんどん話に入っていきます。

廣道 自分は個人競技です。でも合宿とか一緒に互いのストレスにならないようコミュニケーションを取りながらやっています。そんな中で「みんなでリオに行こうぜ！」の気持ちを高めています。



東京新聞フォーラム「スポーツの子カラ」で発言を聞く人たち